

**河川整備交付金**  
**(高潮対策事業)**  
**(浜川)**

# 事業目的

## ○浸水被害・高潮被害が発生

平成2年7月洪水 浸水戸数330戸

昭和60年8月高潮 浸水戸数100戸(市内)

## ○浸水・高潮被害の軽減を図る

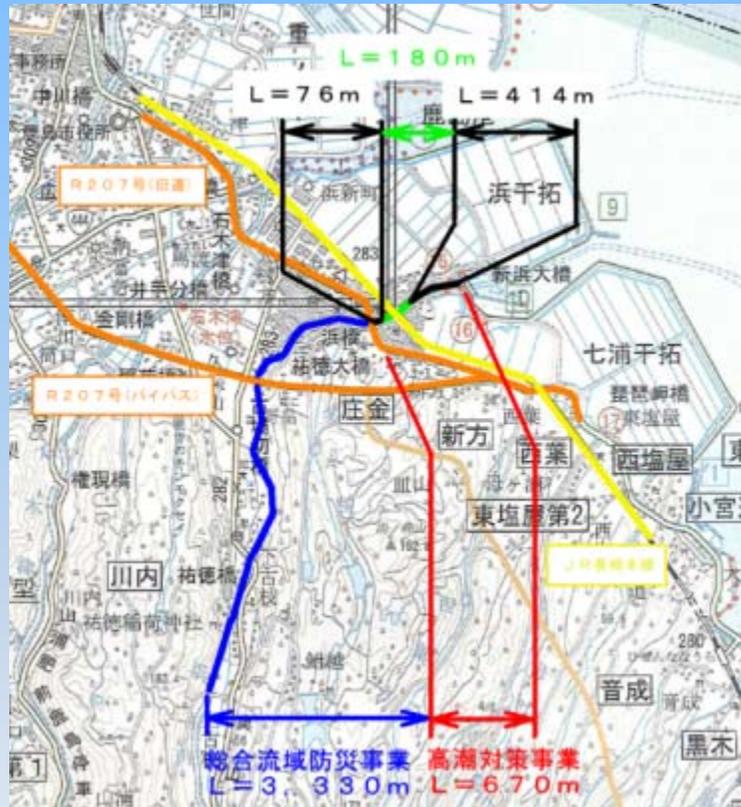
- 河道拡幅、河床掘削を実施(浸水被害軽減)
- 堤防嵩上げを実施(高潮対策)
- 治水安全度の向上を図る

計画流量  $280\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度  $1/50$

# 浜川高潮対策事業

着手年：平成2年度  
事業地：鹿島市

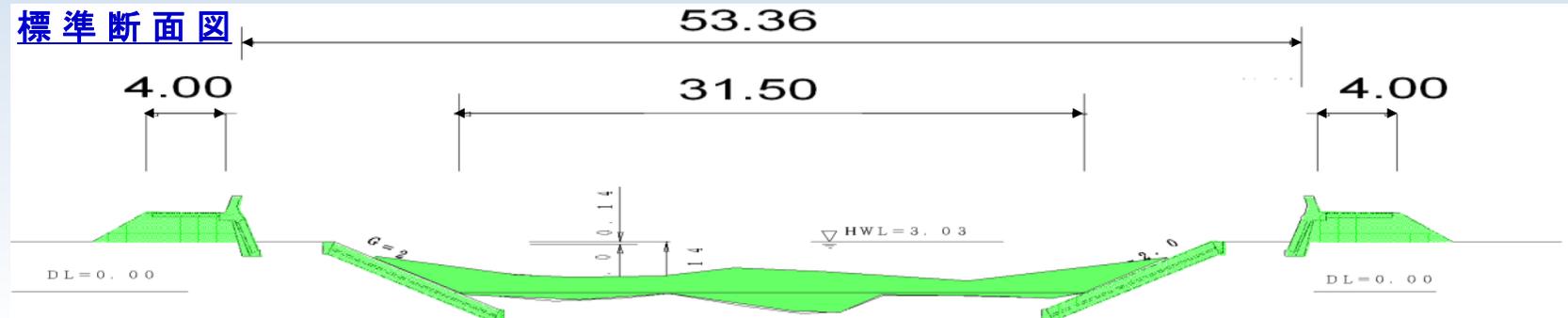


— 完了区間  
— 未完了区間

## ○事業概要

- ・全体事業費 50億円
- ・事業期間 H2~H29
- ・改修延長 670m
- ・計画流量  $280\text{m}^3/\text{s}$
- ・計画治水安全度 1/50
- ・掘削、護岸、  
橋梁1基、JR橋梁1式
- ・費用対効果 15.9

標準断面図



# 浜川 航空写真



## ○事業進捗状況

- ・JR橋梁一式と右岸護岸220m、左岸護岸142mを除き、約450mの改修を完了。
- ・H23年度末進捗率 80.1%(事業費ベース) ・年平均進捗率 3.6%

# 費用対効果 B/C

総費用額C: 高潮堤防の築造及び維持管理に要する総費用

総便益額B: 高潮堤防の築造によってもたらされる総便益額  
(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 8,834百万円

総便益B: 140,177百万円

- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産) 49,839百万円
- ・農作物被害(水稻、畑作物) 1,889百万円
- ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等) 84,407百万円
- ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等) 3,831百万円
- ・残存価値 210百万円

※ 費用対効果

$$B/C = 140,177 / 8,834 = 15.9$$

# 高潮被害状況(1)

左岸0k/280付近



平成11年9月台風18号  
による高潮状況

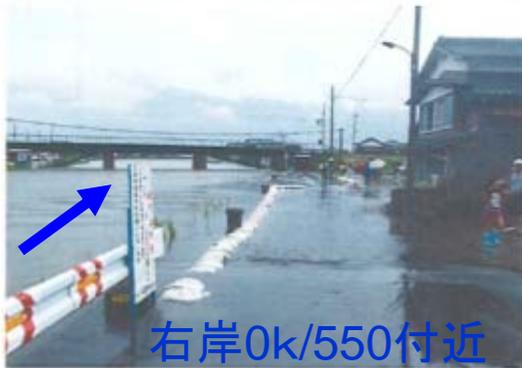


昭和60年8月台風13号  
による高潮状況

# 高潮被害状況(2)



右岸0k/450付近



右岸0k/550付近



右岸0k/525付近

平成24年9月16日台風16号による高潮状況

最高潮位:  
TP+3.60m(H24.9.17. 9時47分)



溢水箇所図

# 未完了区間の状況

0k475付近(JR橋下流右岸状況)



0k550付近(浜大橋より下流を望む)



# 完了区間の状況

0k680付近(浜橋:国道207号)より下流(浜大橋)を望む



0k616(浜大橋)より上流(浜橋:国道207号)を望む



# 多自然川づくりの状況



高水敷きについては、裸地としたことで、植生が繁茂しており、動植物の多様性を発揮する場となることが期待できる。

低水路護岸は、他工事で発生した石材を利用した練張とし、勾配は2割としていることから、親水性が高まっている。



# 今後の浜川高潮対策事業 の継続について

## ☆高潮対策の効果☆

- ①治水安全度の向上
- ②高潮被害の解消
- ③地域住民の安心・安全、  
生命・財産の確保

## ☆今後の事業展開☆

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい